



発表会の練習が始まりました。

5月のなかばから発表会の練習が始まりました。暮れのクリスマス会の踊りが終わってから、基本のレッスンばかりでそろそろあきが来ていた子どもたちは、嬉々として練習に励んでいます。

今年は「雨の名前みつめました」「おかえり るーらちゃん」を上演します。

他の国と比べたわけではありませんが、日本には本当に多くの雨の名前があります。しかもひとつひとつの由来がとても美しい。人々が雨に名付けることで雨をいとおしんできたように、この雨はどんな雨？私だったらこんな名前をつける、など子どもたちが発表会の踊りを通して豊かな世界を築き上げてくれるなら嬉しい限りです。

「おかえり るーらちゃん」は津波で遠くまで流された人形（るーらちゃん）が持ち主のところへ帰る話です。るーらちゃんという名前は、本部幼児科の落ちゃんがまだ2才だったときに、毎週話していた名前です。「お人形のるーらちゃんみたいな髪の毛にして」と言われ、ツインのハーフアップに結っていましたが（まだ短くて量も少なかったのでゴムを何重にもしないととまらなくて大変でした）。でも、落ちゃんのお母さんの話では、るーらちゃんという人形はないとのことでした。この小さな子どもたちができるだけ悲しい目に遭いませんように…。人間の力でどうにか回避できる悲しいことならば、何としてでも回避させたい、その思いで教師一同振り付けしています。

雨の名前を見つけました

6月	梅雨	つゆ	ウグイス 杜若 蝶 てるてるぼうず
7月	七夕流し	たなばたながし	織姫 彦星
8月	村雨	むらさめ	コマドリ
9月	天泣	てんきゅう	キツネ
10月	山めぐり	やまめぐり	菊 稲 柿
11月	秋霖	しゅうりん	紅葉
12月	風花	かざはな	雪迎え 雪起し
1月	綿雪	わたゆき	ユキウサギ
2月	銀雨	ぎんう	寒牡丹
3月	木の芽萌やし	このめもやし	桃の花
4月	香雨	こうう	桜
5月	分竜の雨	ぶんりゅうのあめ	アオガエル 雨降り花 雨告げ鳥

おかえり るーらちゃん

海の底です。海の女神さまに護られて、永い間るーらちゃんは眠っていました。

るーらちゃんはオルゴール人形です。ゆきちゃんが生まれたときにお祝いにと贈られました。るーらちゃんにはお人形としての役目がありました。それは、「ゆきちゃんが泣かないように歌を歌うこと」。

るーらちゃんはゆきちゃんが大好きでした。るーらちゃんが歌うと、ゆきちゃんは泣いていても、にっこり笑ってくれます。ゆきちゃんもるーらちゃんが大好きで、初めて覚えた字は「るーら」。ゆきちゃんは、るーらちゃんのお洋服にクレヨンで書いてくれました。

あるとき、地面が大きく揺れて、巨大な波にるーらちゃんはさらわれてしまいました。

海の女神さまはるーらちゃんを救いだし、眠らせました。それから二十年の月日が流れました。

ある日、るーらちゃんはふいに目を覚ましました。

「ゆきちゃんが泣いてる！泣かないでゆきちゃん、わたしが歌ってあげるから。」

るーらちゃんは、女神さまにゆきちゃんの所に帰りたいと、お願いしました。

女神さまは、お使いのシャークを呼び出して、るーらちゃんを無事にゆきちゃんのところへ届けるように命じて、海の旅の無事を祈ってやりました。

- ・最初に出会ったのは、サーモンの群れでした。
- ・くらげたちがふかりふかりと浮かんでいました。
- ・さんごにきれいな色とりどりの魚たちがたくさん泳いでいました。
- ・嵐に巻きこまれました。
- ・静まった海に月の光が下りてきました。
- ・トビウオと一緒にジャンプ！
- ・真っ暗な海でした。るーらちゃんとシャークははぐれてしまいました。
- ・真珠の赤ちゃんが生まれました。
- ・川と海のまじわるところ、シャークとはここでお別れです。

人々が、鎮魂の祈りをささげていました。

一人の女の人が、打ち上げられたるーらちゃんに気付きました。

「るーらちゃん…？」女の人は、るーらちゃんをだきあげて、背中に書かれた「るーら」の字をなぞり、背中のねじを巻きます。

ゆきちゃんが泣いてしまう。さあ歌って、るーらちゃん！

発表会は今年で38回目です。第1回目から出演していたら、38回目！そこで聞いてみました。

・今年で何回目の発表会ですか？ ・今まで踊った中で一番気に入っている役は？ ・踊ってみたい役はありますか？

- | | | | |
|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------|
| ・3回目 | ・こがねたけ | ・さくらにちょうちよがとまってなかよくなるおどり | 田中絵愛 (本部 子ども1 小1) |
| ・8回目 | ・ぼく | ・トランポリンの上で踊ってみたい | 細田和海南 (本部 ジュニア科 小6) |
| ・15回目 | ・オバケちゃん | ・きれいな踊り | 堂本明里 (大久保 ジュニア科 高3) |
| ・7回目 | ・レナ | ・動物 | 川端こころ (大久保 子ども2 小4) |
| ・6回目 | ・いのかなり | ・青色のいしように | 島村一華 (西山 子ども2 小5) |
| ・6回目 | ・猫の役 (練習は厳しかったけど、ステージは楽しかったです) | ・鳥の役 | 魚屋奈々華 (加古川 ジュニア科 小6) |
| ・5回目 | ・ポラリス | ・人魚の役 | 田口心々 (学が丘 子ども2 小3) |
| ・3回目 | ・イノシシ | ・るーらちゃん たなばたながし (今年がんばります！) | 阿部心渚 (桂木 子ども2 小5) |
| ・4回目 | ・ピンクのおはな | ・こうさぎやこじかのようなどうぶつのおどり | 水谷静 (本部 子ども1 小1) |
| ・8回目 | ・秋 (クリスマス会) | ・かっこいい役 (シャークとか、風など) | 藤井花名 (本部 ジュニア科 小6) |
| ・8回目 | ・風 | ・和風な感じの役 | 原田光琉 (本部 ジュニア科 中1) |
| ・12回目 | ・アリ | ・風 | 菊原麻理奈 (本部 ジュニア科 中1) |
| ・8回目 | ・光 | ・マーメイド | 岡田彩花 (本部研究科 高1) |
| ・25回目くらい？ | ・楽天使、アメンボ、魔女色々あって分かりませんが、どれも好きです。 | | |
| ・どんな役でも踊れるようにもっとがんばりたいですが、もう一回くらいチュチュが着たいかな (笑) | | | 仲間くみ子 (有野ジュニア科) |
| ・5回目 | ・『しーっすかに アゼルが今ねているよ』です。お話の中でアゼルの家があってそのドアが緑をしていて、その前にミルクとクッキーを置いておくかと思えないという設定が大好きだからです。 | | |
| ・光の精、花の精、木の精霊をしてみたいです。まだやったことがないのでやってみたいです。 | | | 西岡里紗 (西大和 子ども2 小5) |

終わりました！応援ありがとうございました。

創作実験劇場 3月8日(日) 芦屋市民ホールルナホール

菊本千永「カクレミノを編む」 稲益夢子「The scenery that I see」 向井華奈子「流跡」 金沢景子「佃女とともに」

かじのり子「静かなる近づき」 寺井美津子「倚りかからず」 平岡愛理 梁河茜「NOW OR NEVER」 藤田佳代「続ける」

出演 寺井美津子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 石井麻子 板垣祐三子 梁河茜 平岡愛理 稲益夢子 穂井田凜 木村はな
ハーバート真唯 菊原麻理奈 原田光琉 渡辺菜子 雲井瑞帆 新田小夏 門家由采 坂本のより 中野菜歩 山鹿和奏 石澤佑唯
岡村春花 福本莉菜

特別出演 東仲 一矩 演奏 MOTOKI 山元亮一 吉田香奈子

研究所のメンバーがそれぞれの捜索に取り組み発表する創作実験劇場。 関西音楽新聞 (Classic Note) 2015年4月1日

今回、10人の作舞者による8つの振付作品が上演された(1作品を共同で、または場面を手分けしてふりつけられたものもあるため)。どれも作舞者が想いを込めて創っていることが感じられたが、特に印象に残った二つについて書きたいと思う。

一つは、作舞・出演ともに向井華奈子による「流跡」。モーリス・ラヴェルの曲に乗せて、舞台袖から繋がるリボンを効果的に使って踊った。なめらかさを持った動きで、“流れる”時間と戯れる感覚を抽象的に感受性豊かに表現していることが感じられた。もう一つはラストの「続ける」。藤田佳代とかじのり子が、今、日本人の心の中からいなくなってしまうつつあるのではないかという日本のカミガミをモチーフに作舞。石を打つ音だけで踊る「石 石を祀る 石と遊ぶ 石に語る」、子供を活かした「座敷童」、かじのり子の人間ではない生き物であるということが納得できるコントロールされた身体の動きに引き込まれた「河童」、フラメンコダンサーの東仲一矩がゲストとして振付・出演しての頑 固親父のような迫力の「案山子」と続き、異を唱えるべきことには強い意志を持って立ち向かうべきということが伝わってきた「鬼」の群舞で幕を閉じた。 松あつこ

第9回トライアルステージ 4月2日(木) 兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール 「春告鳥」門家由采

ろっこう医療生協デイケア” つどい” 慰問 4月7日(火) ろっこう医療生協 デイケアセンター

「雪結晶」藤井花名 「風音」木村はな 「春告鳥」門家由采

こうべ全国洋舞コンクール 5月6日(月・振休) 神戸文化中ホール

「雪結晶」藤井花名 「あの日の蝶—青空が見えた」菊原麻理奈 「風音」木村はな

藤田佳代舞踊研究所のここが好き！

軽い運動のつもりで始めさせたバレエでしたが、先生のでいぬいで上手なご指導のおかげで踊ることが大好きになりました。教室のお姉ちゃん達にもかわいがってもらい、発表会の時にしか会えないお姉ちゃん達もとても優しく、毎年大きくなっていくみんなにあえることが楽しみです。全て研究所の先生方が大変な努力をしてくださっているおかげだと思います。できるかぎり続けて、先生方を見て頑張れる子にさせたいと思います。これからもよろしく願い申し上げます。

先生自ら、踊りに挑戦しておられる姿が、子どもたちにとっては何よりのお手本となっている。先生も生徒もそれぞれの個性を大切にされていると感じる。舞台を初めて見た時、自分より小さい子を気にしながら踊っている子どもたちの、一生懸命さがとても素敵だった。踊りだけでなく、1人の人間として皆で育てようとして下さるところが、自慢したいところでありすきなところだ。

今後の予定

ダンスブーケ 8月30日(日) 本部スタジオ

山の街自治会敬老の集い 9月21日(月・祝) つくしホール 出演 山の街・桂木研究生

コープカルチャー宝塚2015年度 舞台発表会 10月31日(土) 宝塚大ホール 出演 コープカルチャー宝塚講座生

ふれあいの祭典2015 ひょうご洋舞フェスティバル 11月7日(土) 兵庫県芸術文化センターKOBELCO 大ホール

「草木萌ゆ」「花によせる12のダンス—酒井抱一十二月花鳥図より」 作舞・企画 藤田佳代

出演 梁河茜 平岡愛理 菊原麻衣花 木村はな 渡辺菜子 門家由采 新田小夏

かじのり子モダンダンスリサイタルIV 11月21日(土) 兵庫県立芸術文化センター女学院小ホール